

ミシシッピ川：水位上昇＝コスト上昇

こちらは、英文記事「[Mississippi River: High water = high costs](#)」（2019年2月19日付）の和訳です。



ミシシッピ川の水位上昇と速い潮流により、遅延や追加コストが発生する可能性があります。

ミシシッピ川では今年何度も水位上昇に見舞われる可能性があります。水位が最も上昇する季節は一般的に12月から5月と言われ、水位がピークに達するのは通常2月から5月にかけてです。これ以外の時期に水位の上昇は観測されないと一般的に考えられていますが、水位は何度も上昇する可能性があります。時には1月から8月まで断続的に上昇し続けたこともあります。長期予想は常に正確とは限りません。広大な陸地エリアからの水がミシシッピ川に流れ込むことに加え、エリア全体での降雨量が多いことから、川の水位はほとんど予兆のないまま、急速に上昇する可能性があります。言うまでもなく、雪解け水も川に流れ込み水位を上昇させますが、この時期だけを水位の高い季節と**考えない**方が無難です。

川の水位が上昇すると、船舶に多大な悪影響が出ます。その多くは、6~7ノットの急流と浅瀬形成に関連し、予想外の喫水制限につながる場合もあります。水位上昇を原因とするその他の問題として、以下のものが考えられます。

- 水路の浚渫が必要な場合、深喫水船では長期間（2~3週間）輸送が遅延する
- 日中航行のみに制限される
- 揚錨機の損傷や錨の紛失が発生する（船舶が強い水流の影響で柔らかい泥に深く「突っ込む」際に多発）
- 特定の停泊地と中流の浮標設備にタグボートの待機と水先人の一日中の乗船が必要となる

上記の問題は遅延と広範な追加費用につながる可能性があります。タグボートの料金は1時間当たり3,000米ドルに達することがあるうえ、一部の停泊地では2~3艇隻必要になる場合があります。水先人が24時間常駐乗船することになると、1日当たりのコストは優に2万ドルを超える可能性があります。したがって、水位が高い時期にミシシッピ川の停泊地にタグボートと水先人を依頼すると、見積港船費に通常盛り込まれる明記される金額を超える追加のコストとして、30万~50万米ドルあるいはそれ以上に達することも珍しくありません。

船主や運航者は、ミシシッピ川を航行する前に、船舶代理店や当クラブの現地コレスポンデントなど、信頼のおける関係者に相談することをお勧めします。可能であれば、用船契約当事者の中には水位上昇にまつわる費用から自身を守るを補償する手段条項を用意しておくといでしょう。あらゆる係船・停泊用具は何度も点検しましょう。追加の係船索を用意しておきましょう。水位が高くなることの多い時期には、魅力的な用船契約料金を提示されても、発生する可能性の高い問題や追加コストに目をつぶることがないようにしてください。

この記事は Gard のニューオーリンズのコレスポンデントである Phelps Dunbar LLP 社の Kevin LaVie 氏からの情報に基づいています。

本情報は一般的な情報提供のみを目的としています。発行時において提供する情報の正確性および品質の保証には細心の注意を払っていますが、Gard は本情報に依拠することによって生じるいかなる種類の損失または損害に対して一切の責任を負いません。

本情報は日本のメンバー、クライアントおよびその他の利害関係者に対するサービスの一環として、ガードジャパン株式会社により英文から和文に翻訳されております。翻訳の正確性については十分な注意をしておりますが、翻訳された和文は参考上のものであり、すべての点において原文である英文の完全な翻訳であることを証するものではありません。したがって、ガードジャパン株式会社は、原文との内容の不一致については、一切責任を負いません。翻訳文についてご不明な点などありましたらガードジャパン株式会社までご連絡ください。